

AXIS 2120 のモーション検知機能をご使用になる際の注意点

2001/4/17
アクシスコミュニケーションズ(株)

・周波数と蛍光灯の関係

日本には2つの周波数が存在します。

だいたい静岡県の富士川から新潟県の糸魚川を境に東側は50Hz、西側は60Hzとなっております。蛍光灯は1秒間に周波数の約2倍の点滅を繰り返し行っており、蛍光灯の寿命が近づいてくると、この点滅回数が減ってきて、いわゆる「ちらつき」が分かりやすくなります。

しかし、最近では、このちらつきを抑えた製品(インバータ蛍光灯器具)が発売されております。このインバータ蛍光灯器具は、毎秒約90,000回の点滅をし、ちらつきは分からなくなりました。

・AXIS 2120 のシャッタースピード

AXIS 2120 のシャッタースピードは 1/60 から 1/10000 内で設定可能です。
出荷時は1/60に設定されております。

・モーション検知機能と蛍光灯の関係

AXIS 2120 のモーション検知機能とは、JPEGファイルを高速で作成していく際、前に作成されたファイルと、後で作成されたファイル内の違いを判断し、指定している検知の動作基準を越えた場合に、トリガとして指定した場所にファイルを送る機能のことです。

その際の判断材料は、「人がいる・いない」「物がある・無い」ではなく、色の変化があったかどうかで判断します。

先ほどの蛍光灯がここで関係してきます。非インバータの場合、1秒間に100回程度の点滅のため、1/60のシャッタースピードでは明るさに微妙な変化が見られます。人間の目では分かりにくいですが、微妙な明るさの変化がその短い時間内に起きているわけです。その明るさが変わることで、当然、「色」も変わってきます。例えば、同じ赤でも明暗により何種類にも色分けが出来ます。

その為、非インバータ蛍光灯器具の光が画像内に入る場合、AXIS 2120 は点滅の影響による明るさの違いを画像の違いと判断し、検知します。

しかし、インバータ蛍光灯器具では、毎秒90,000回というとても速いスピードで点滅しているため、その微妙な変化が発生致しません。
白熱球の場合は、点滅を行わないため、ちらつきという現象自体発生致しません。

そのため、モーション検知機能の対象となる画像範囲に、「蛍光灯(非インバータ)」や「テレビ」「ネオン」「外部より瞬間的に入ってくる光」等がある所でお使いの場合はご注意ください。

蛍光灯に関しましては、「グローランプ」という機器がついている場合は、非インバータ蛍光灯器具となります。電気を点けた際に、蛍光灯以外の小さい部品が「チカチカッ」と点滅した後、蛍光灯が点くのが、非インバータ蛍光灯器具の特徴です。

詳しくは、実際に蛍光灯器具を取り付けた業者までご確認ください。